

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ①

名前（ ）

㊦ 今日の学習のめあて

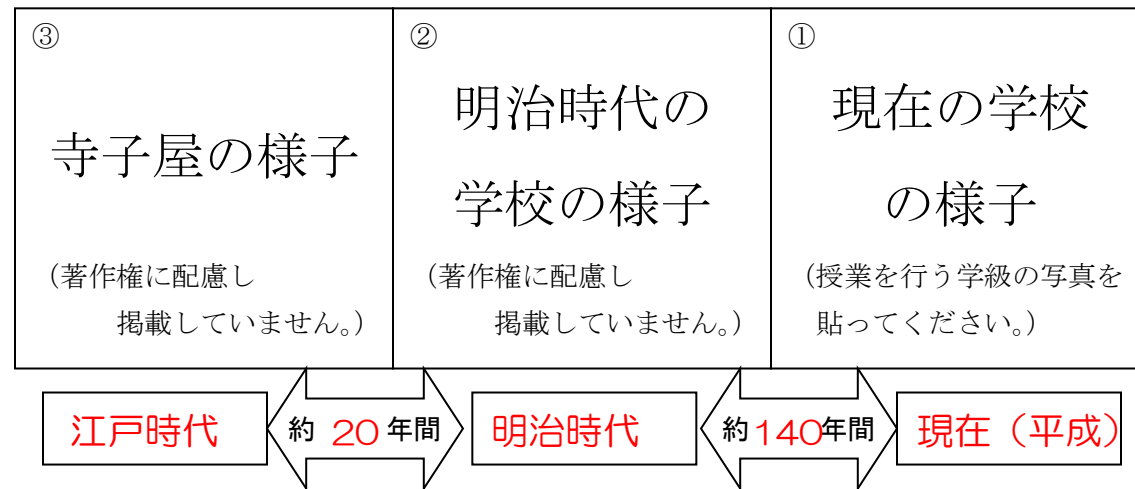
学習活動 1

新しい単元に入ることを伝え、3枚の歴史の資料を順に示し、似ているところや違うところなど資料を比較させ、児童の気付きを出し合わせます。

その後、資料を古い順に並べさせたり、それぞれの資料の間の年数を調べさせたりして、江戸末期から明治初期の20年間の変化の大きさに着目させて、めあてを設定します。

江戸時代と明治時代との違いを見つけて、学習問題をつくろう。

㊦ 3枚の歴史の資料を見比べてみよう。



資料から分かったことを書きましょう。

学習活動 1

複数の資料から読み取る例を1つ学級全体で行い、比較する読み取り方を学ばせることで、学習活動2の活動方法を学級全体で共有し、他の資料からも調べて見ようとする意欲を喚起させます。

学習活動 2

「時代が大きく変わったときは、どのようなことが変わっていたか」を問いかけ、前単元までの学習を想起させることで、時代が変わるごとに変化していると考えられる項目（調べる視点）を確認します。

《調べる視点例》

「政治」「文化」「技術」「武力」「仕事」「衣」「食」「住」「学問」「考え方」「身分」「人々の楽しみ」など

学習活動 3

調べる視点の中から、視覚的に比較しやすい「衣」「食」「住」「人々の楽しみ」「仕事」「文化」を調べさせます。児童に調べる意欲をもたせ、児童が主体的に活動できるように、実践事例5では以下のような指導の工夫を取り入れました。学級の実態に応じて手立てを工夫しましょう。

- ・比較して調べる技能についても学ばせるために、3人の少人数グループで調べさせる。
 - ・各グループに調べる視点を1つ割り当てることで、グループでの活動に責任をもたせる。
 - ・各グループが調べる視点をくじ引きで決めることで、児童が全ての視点を意識できるようにする。
- また、調べさせる資料は教師が用意し、違いが分かりやすい写真や絵を、左右に配置するようしました。

学習活動 4

それぞれのグループが調べたことの中から、最も変化が起こったと考えることや自信をもって言えることなどを1つ発表させます。その際、電子黒板で資料を拡大提示し、学級全体で共有することで、他の児童が反応しやすいようにします。また、「それはどこから分かったの?」と問い返すことで、読み取るポイントに児童が集中できるようにします。このようにして、様々な視点から大きく変化したことに気付かせます。

㊦ これからの学習問題をつくろう。

江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのような変わったのだろう。

学習活動 5

「なぜこんなに大きく変化しているのだろうか」と問いかけ、児童から「きっかけ」「人々の思い」などを予想させ、その根拠があるかどうかを問い返すことで、児童の「予想を確かめたい」「本当はどうだったのか調べたい」という追究意欲をもたせ、学習問題へと導きます。

学習活動 6 【評価】思考・判断・表現

調べる視点の中から、まだ調べていない視点について、学習問題に対する予想をさせます。これにより、学習計画を立てさせ、次時以降の学習の見通しをもたせます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ②

名前（ ）

め 今日の学習のめあて

江戸時代から「考え方」や「身分」は、どのように変わったのか調べよう。

問 今日調べる項目に

「考え方」

岡倉天心の
写真やイラスト
(著作権に配慮し
掲載していません。)

「身分」



学習活動1

前時を振り返らせ、学習問題と、調べる視点「考え方」「身分」について調べる計画であることを確認し、めあてを設定します。

学習活動2

「考え方」や「身分」の変化について、予想させることで、江戸時代はどうであったかを確認します。これにより、学習活動4で学習をまとめる際に、江戸時代との比較ができるようにします。

学習活動3

「考え方」や「身分」を視点に、児童に調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

調べたこと

問 調べたことから、学習問題Iについて考えよう。

「考え方」

学習活動4

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、「どうして、変化する必要があったのか」や「どうして変化したのか」などを学級全体に問いかけることにより、学習問題に立ち戻らせ、情報を関連付けさせながら学習問題について考えさせます。考えたことをワークシートにメモするように指示することで、学習活動5での活動に生かさせます。

「身分」

ま 今日の学習をまとめよう。・学習問題Iに答えるように書く。

学習活動5 【評価】知識・理解

児童が調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題「江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのように変わったのだろうか」に答えるようにまとめさせます。その後、「学習問題が解決できたか」を問いかけ、「変化したきっかけ」がまだ調べられていないことを児童から引き出し、次時の学習計画を確認し、次時へつなげます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ③

名前（ ）

め 今日の学習のめあて

学習活動 1

前時を振り返らせ、学習問題と、調べる視点「変化したきっかけ」について調べる計画であることを確認し、めあてを設定します。

江戸時代から明治時代にかけて「変化したきっかけ」を調べよう。

問 今日調べる項目に関わる6人の人物について調べよう。

「変化したきっかけ」

学習活動 2

「変化したきっかけ」について、予想させることで、江戸時代はどうであったかを確認します。これにより、学習活動4で学習をまとめる際に、江戸時代との比較ができるようにします。

学習活動 3 【評価】 関心・意欲・態度

「変化したきっかけ」を視点に、児童に調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

問 調べたことを年表にして、学習問題 I について考えよう。

6人の関係を考えよう

学習活動 4

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、「調べた6人はどんな関係になるのかな」や「きっかけになったこと（歴史的事象）はどのような順番で起こったのかな」などを学級全体に問いかけることにより、学習問題に立ち戻らせ、人物の関係図や年表に整理させながら学習問題について考えさせます。

考えたことをワークシートにメモするように指示することで、学習活動5での活動に生かさせます。

年表にして考えよう

ま 今日の学習をまとめよう。・学習問題 I に答えるように書く。

学習活動 5 【評価】 知識・理解

児童が調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題「江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのように変わったのだろうか」に答えるようにまとめさせます。その後、「学習問題が解決できたか」を問いかけ、「技術」と「武力」の変化がまだ調べられていないことを児童から引き出し、次時の学習計画を確認し、次時へつなげます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ④

名前（ ）

め 今日の学習のめあて

学習活動 1

前時を振り返らせ、学習問題と、調べる視点「技術」と「武力」について調べる計画であることを確認し、めあてを設定します。

江戸時代から「技術」「武力」の面ではどのように変化したのか調べよう。

問 今日調べる項目に関わる人物について調べよう。

「技術」

学習活動 2

「技術」について、予想させる際に、五箇条の御誓文に触れ、「なぜ技術を変化させる必要があったのか」を問いかけることで、国民の生活を良くすることや外国との関係に目を向けさせます。これにより、「技術」の視点に、「武力」や「国づくり」の視点を関連付けさせ、学習活動 3 へつなげます。

「武力」

学習活動 3

「技術」「武力」を視点に、児童に調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

問 調べたことをもとにして、学習問題 I について考えよう。

明治政府は、どのような国づくり（改革）を進めたのかな？

改革

学習活動 4

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、五箇条の御誓文や欧米との不平等な条約に触れ、「どのような国づくりを勧めたのかな」と学級全体に問いかけることにより、学習問題に立ち戻らせ、「国づくり（改革）」の視点から学習問題について考えさせます。

考えたことをワークシートにメモするように指示することで、学習活動 5 での活動に生かさせます。

ま 今日の学習をまとめよう。・学習問題 I に答えるように書く。

学習活動 5 【評価】知識・理解

児童が調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題「江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのように変わったのだろうか」に答えるようにまとめさせます。その後、「明治時代の改革は良いことばかりだったのだろうか」と問いかけ、「不満」の視点を児童から引き出し、次時の学習計画を確認し、次時へつなげます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ⑤

名前（ ）

④ 今日の学習のめあて

学習活動 1

前時を振り返らせ、学習問題と、調べる視点「不満」について調べる計画であることを確認し、めあてを設定します。

明治政府の改革に「不満」をもつ人がいたのか調べよう。

⑤ 今日調べる項目に関わる人物について調べよう。

「政治」「技術」「武力」に対する不満（困ったこと）

学習活動 2

「不満」について、予想させる際に、これまでの調べる活動を振り返らせ、「改革に不満をもった人のことが分かる資料がなかったか」を問いかけることで、児童から人物が出てくるようにします。これにより、児童の主体的な学習へとつなげます。

学習活動 3

「不満」を視点に、児童に調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

⑥ 今日の学習をまとめよう。・学習問題 I に答えるように書く。

学習活動 5 【評価】知識・理解

児童が調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題「江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのように変わったのだろうか」に答えるようにまとめさせます。その後、「国会って何だろう」と問いかけ、「政治」の視点を児童から引き出し、次時の学習計画を確認し、次時へつなげます。

⑦ 調べたことをもとにして、学習問題 I について考えよう。

明治政府は、どのような国をめざしたのかな？

学習活動 4

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、国民の生活に触れながら、「どのような国づくりを勧めたのかな」と学級全体に問いかけることにより、学習問題に立ち戻らせ、「国づくり（改革）」の視点から学習問題について、前時の学習活動 4 と比べさせながら考えさせます。

また、「これらの不満をもった人々は、どうしたの？」「国民の声はどうでもよかったのかな」と問いつことで、国会開設や自由民権運動のきっかけになったことを押さえておきます。

考えたことをワークシートにメモするように指示することで、学習活動 5 での活動に生かさせます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ⑥

名前（ ）

め 今日の学習のめあて

学習活動1

前時を振り返らせ、学習問題と、調べる視点「政治」について調べる計画であることを確認し、めあてを設定します。

明治時代の「政治」はどのように変わったのか調べよう。

問 今日調べる項目に関わる人物について調べよう。

「政治」

学習活動2

「政治」について、予想させる際に、これまでの調べる活動を振り返らせ、「政治に関わる人物がいなかったか」を問いかけることで、児童から人物が出てくるようにします。これにより、児童の主体的な学習へとつなげます。

学習活動3 【評価】資料活用の技能

「政治」を視点に、児童に調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

問 調べたことをもとにして、学習問題Iについて考えよう。

明治政府は、どのような国をめざしたのかな？

学習活動4 【評価】思考・判断・表現

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、国民の生活に触れながら、「どのような国づくりを勧めたのかな」と学級全体に問いかけることにより、学習問題に立ち戻らせ、「国づくり（改革）」の視点から学習問題について、これまでの学習活動4と比べさせながら考えさせます。

また、「国民の声は政治に生かされたのかな」と問い返すことで、憲法や選挙、国会開設を関連付けさせます。

考えたことをワークシートにメモするように指示することで、学習活動5での活動に生かさせます。

ま 今日の学習をまとめよう。・学習問題Iに答えるように書く。

学習活動5

児童が調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題「江戸時代から明治時代には、どんなことがきっかけでどのように変わったのだろう」に答えるようにまとめさせます。その後、「学習問題は解決したか」と問いかけ、調べる視点は全て調べたことを確認し、次時の学習計画を確認し、次時へつなげます。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ⑦

め 今日の学習のめあて

学習活動1

前時を振り返らせ、学習問題についてまとめることを確認し、めあてを設定します。

学習問題についての答えをまとめよう。

問 学習問題 I についてまとめよう。

学習活動2

これまでの調べる活動を振り返らせるために、NHK for School の映像を基に、内容を質問したり、「どうして」「どうなった」などきっかけや変化について問いかけることで、視覚的に学習したことを振り返ることができるようにします。

学習活動3

学習問題の答えをまとめさせます。その際、学習問題に沿って「～がきっかけで、からに変わった」という文に当てはめるようにさせます。

ま 今日の学習をまとめよう。

学習活動5 【評価】関心・意欲・態度

学習問題を解決できたことを称賛し、最初の予想からの自分の伸びについて、知ったことや考えたことなどをキーワードにして振り返りを記述させます。最後に、「江戸時代から一番変わったところは何だろう」と問いかけ、自分の考えを記述させます。その後、「平等」の視点からの記述を取り上げ、「平等になったと言えるだろうか」と問いかけることで、学習問題II「なぜ、限られた人にしか選挙権を与えなかったのだろうか」をつくります。

名前（ ）

問 調べたことをもとにして、明治政府がめざした国になったのかどうか考えよう。

明治の人物関係図

学習活動4 【評価】資料活用の技能

明治時代の学習では、これまでの学習に比べ、多くの人物について調べさせたことから、人物を整理できない児童が多くいます。そのため、人物関係図を作らせ、人物の業績や思いを基に、関係を整理させます。その際、ワークシートを見直させるなど、これまでの学習を振り返らせ、「国の発展」や「平等」、「不満をもつ人」などのキーワードを使わせることで、整理しやすくします。

江戸から東京へ ～明治の国づくりを進めた人々～ ⑧

名前（ ）

め 今日の学習のめあて

学習活動1

前時の学習を振り返らせ、学習問題Ⅱについて考えることで、歴史を学ぶ意味を考えようと投げ掛け、めあてを設定します。

学習問題Ⅱについて考えよう。

問 学習問題Ⅱ

なぜ、限られた人にしか選挙権を与えられなかったのだろうか。

問 学習問題Ⅱについて調べよう。

学習活動2

明治時代の選挙権について、調べさせます。調べ活動をさせる際には、以下のことに留意しましょう。

- ・教科書を中心に調べさせます。資料集があれば活用させます。
- ・教師は、それぞれの視点に関わる人物を紹介するだけにとどめ、教科書の関連する文章や絵図などは、児童に見付けさせるようにします。
- ・ワークシートには、調べて分かったことを記述させます。その際、どの資料のどの部分から分かったのかをメモさせておきます。

ま 今日の学習をまとめよう。

学習活動4 【評価】知識・理解

現在の選挙権に至るまでに、明治時代から多くの人の努力があったことや現在の選挙権が平等になっていることに触れている児童の記述を取り上げ、この歴史を受けて自分があることを考えられたことを称賛し、本単元の学習を閉じます。

問 調べたことをもとにして、学習問題Ⅱについて考えよう。

学習活動3 【評価】思考・判断・表現

児童が調べて分かったことを、グループや学級全体で発表させ、児童が調べた情報を共有します。その際、これまでに学習した出来事や人物の業績、国民の生活などに触れながら、「なぜ、全員に選挙権を与えなかったのだろうか」と学級全体に問いかけることにより、学習問題Ⅱに立ち戻らせ、習得した知識を活用させながら考えさせます。

また、現在の選挙権と比較させることで、学習問題Ⅱについて考えるヒントにさせます。

個人で考えさせるには、難しいこともあるので、自由に友達と相談してよいことを指示します。